

カスタム・グリッドライン機能

本ヘルプガイドは、ソニー製デジタルカメラの追加サービスライセンスをお申込みいただいた方を対象にしたものです。

ここでは、お客様が使用用途に合わせて独自に作成した撮影用/再生時の確認用のグリッドラインをカメラに登録する方法などを説明しています。

[カスタム・グリッドライン機能を有効にする](#)

[「Custom Gridline Generator」を使う](#)

[グリッドラインのPNGファイル作成条件](#)

[グリッドラインをカメラに登録する](#)

[登録したグリッドラインを削除する](#)

[再生時にグリッドラインを表示する](#)

[グリッドライン表示のオン/オフをカスタムキーで切り換える（再生）](#)

[グリッドライン表示のオン/オフをファンクションメニューから切り換える（再生）](#)

カスタム・グリッドライン機能

カスタム・グリッドライン機能を有効にする

カスタム・グリッドライン機能を有効にするには、メモリーカードに保存したライセンスファイルをカメラに読み込ませる必要があります。

操作について詳しくは、下記のヘルプガイドをご覧ください。

<https://helpguide.sony.net/di/activate/v1/ja/index.html>

TP1001495134

B-A52-100-03(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カスタム・グリッドライン機能

「Custom Gridline Generator」を使う

「Custom Gridline Generator（グリッドライン作成ツール）」を使って、カスタム・グリッドラインに適したPNGファイルを作成できます。

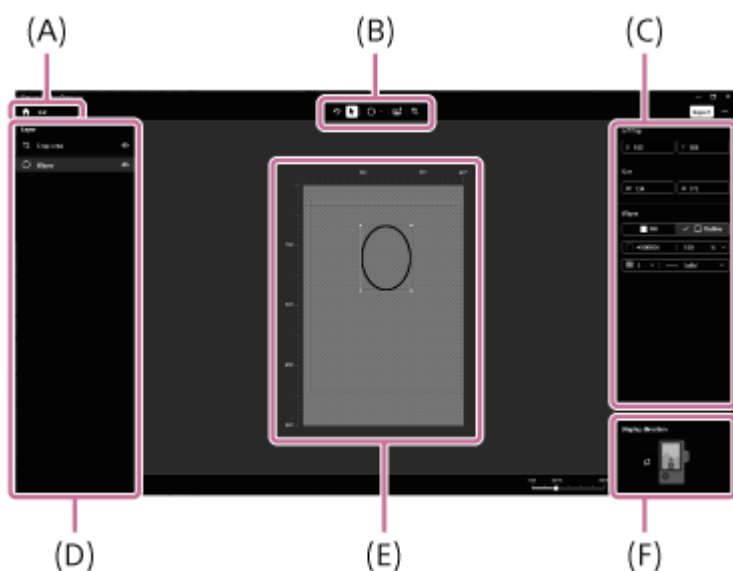
あらかじめ、下記のURLから「Custom Gridline Generator」をダウンロードしてパソコンにインストールしてください。

<https://support.d-imaging.sony.co.jp/app/cgenerator/>

- 「Custom Gridline Generator」はWindows®専用です。

1 「Custom Gridline Generator」を起動する。**2 ホーム画面で、撮影で使用するアスペクト比と縦横の向きを選択し、【Create New Gridline】をクリックする。**

アスペクト比と縦横の向きに応じてカスタム・グリッドラインに適した解像度のキャンバスが生成され、描画画面が表示される。

**(A) ホームボタン**

編集中的の内容を破棄してホーム画面に戻ります。ボタンの右側には現在のアスペクト比が表示されます。

(B) ツールバー

各種ツールを選択して使用できます。

- (選択) : 配置したアイテムをキャンバス上でクリックして選択できます。Deleteキーを押すと選択中のアイテムを削除します。
- (図形描画) : 描画する図形の種類を選択できます。
- (画像取り込み) : 画像を取り込んで挿入できます。取り込んだ画像は背景として設定することもできます。
- (クロップライン) : クロップ範囲を配置できます。
- (取り消し) : 1つ前の操作を取り消します。

(C) 編集パネル

- 選択したアイテムの座標やサイズなどの情報が表示され、各項目に数値を入力して微調整できます。

- 選択した図形の色や線の種類などを変更できます。色はカラーパレットから選択するか、カラーコードを指定してください。透明度は10%～100%まで10%刻みで設定できます。
- 図形が曲線の場合は、線の太さを含まないパスの位置が座標に表示されます。それ以外の図形では線の太さを含む外周の位置が座標に表示されます。

(D) レイヤーパネル

配置したアイテムのレイヤー構造が表示されます。アイテムの表示/非表示切り換えや、アイテムを右クリックしてコピー/削除が可能です。

- アイテムの並び順は変更できません。
- 新しく配置したアイテムは既存アイテムの上層に追加されます。
- クロップ範囲は常に最上層のレイヤーに配置されます。
- レイヤーパネルで非表示に設定したアイテムは作成したPNGファイルにも表示されません。

(E) キャンバス

各種ツールを使ってアイテムの配置/移動/サイズ調整/削除などができます。

下記のショートカットキーを使用できます。

- [Shift] を押しながらドラッグ：水平線/垂直線の描画
- アイテムを選択して [Ctrl] + [E]：中央配置
- アイテムを選択して [Delete]：削除
- アイテムを選択して上/下/左/右キー：位置調整

(F) 表示方向

カメラに対するグリッドラインの表示方向を設定します。縦向きのグリッドライン作成時のみ設定できます。

3 必要に応じて、ツールバーから (画像取り込み) を選択し、背景画像を設定する。

背景に設定する場合は、取り込んだ画像を選択して、編集パネルで [Set as a tracking guide] スイッチをオンにしてください。

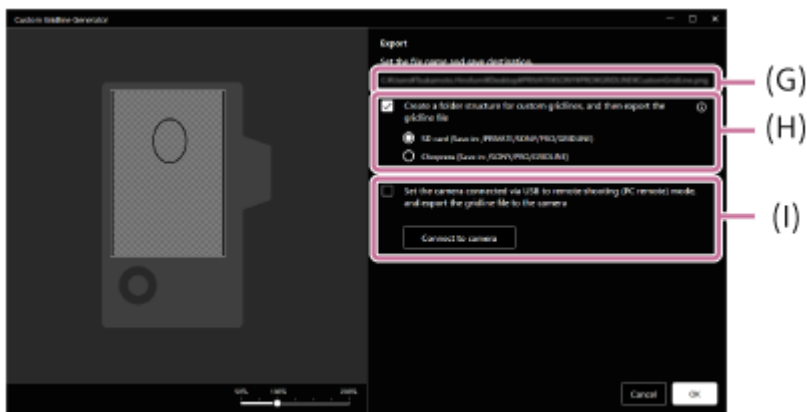
- 背景に設定した画像はレイヤーの最下層に移動し、生成後のグリッドラインファイルには出力されなくなります。

4 描画画面でグリッドラインを描画する。

5 必要に応じて、ツールバーから (クロップライン) を選択し、キャンバス上にドラッグしてクロップ範囲を設定する。

- クロップ範囲を設定すると、PNGファイルのメタ情報にクロップ範囲の情報が書き込まれます。
- クロップ範囲は外周が座標に反映されます。

6 [Export] をクリックして出力パネルを開き、保存先やファイル名を設定する。



(G) 保存先入力欄

クリックして保存先とファイル名を手動で入力します。

(H) 自動フォルダ設定

カメラへの取り込み条件に適したフォルダ構造を自動で設定できます。

「Set the camera connected via USB to remote shooting (PC remote) mode, and export the gridline file to the camera」にチェックを入れて、保存するメモリーカードの種類を選択してください。

(I) 接続カメラ設定

接続したカメラに挿入されたメモリーカードにPNGファイルを直接保存できます。

カメラの「USB接続モード」を「PCリモート」または「リモート撮影」に設定し、カメラとパソコンをUSB接続して「Connect to camera」をクリックしてください。カメラと接続中は「Set the camera connected via USB to remote shooting (PC remote) mode, and export the gridline file to the camera」に自動的にチェックが入ります。接続が切断されるとチェックが外れます。

- カメラにメモリーカードが入っていない場合はエラーになります。

7 「OK」をクリックする。

指定した保存先にPNGファイルが生成される。

お使いのカメラと連携するには

「Custom Gridline Generator」とお使いのカメラを連携することで、接続したカメラに挿入されたメモリーカードにPNGファイルを直接保存できます。

カメラの機種によってはこの機能に対応していない場合があります。詳しくは「カスタム・グリッドラインライセンス」のウェブサイトをご覧ください。

1. カメラの「USB接続モード」を「PCリモート」または「リモート撮影」に設定する。
2. カメラをUSBケーブルでパソコンに接続する。
3. 「Custom Gridline Generator」の出力パネルで「Connect to camera」をクリックする。

ご注意

- 描画画面で配置できるアイテムの上限は50個です。
- 縦向きで作成したグリッドラインも横長の画像として表示されますが、カメラを縦向きに構えた場合にグリッドラインとして正しく表示されます。縦向きで作成したグリッドラインを縦長の画像として取り込みに使用したい場合は、お手持ちのアプリケーションで画像を回転してください。
- パソコンに接続したままカメラで撮影を行うと、撮影画像がカメラではなくパソコンに保存される場合があります。
- 「Custom Gridline Generator」以外のアプリケーションやソフトウェアとカメラが接続されていると、「Custom Gridline Generator」でカメラ接続ができない場合があります。

- パソコンのディスプレイ解像度が低い場合、「Custom Gridline Generator」が画面に収まらない場合があります。解像度 1920px×1080px以上のディスプレイを使用し、ディスプレイの拡大率を100%以下に設定してください。
- カメラでクロップ機能を実行中はPNGファイルをインポートできない場合があります。
- グリッドラインのファイル名には以下の制約があります。
 - ― 使用できるのは半角英数字と以下の記号です。
スペース # \$ % & ' () + , - . ; = @ [] ^ _ ` { }
 - ― ファイル名の先頭に「.」（ピリオド）は使用できません。
 - ― 拡張子は「.PNG」としてください。大文字/小文字のどちらでも使用できます。
 - ― 文字数は拡張子「.PNG」を含めて63文字以下としてください。
- カメラを初期化すると登録したカスタム・グリッドラインも削除されます。

TP1002005869

B-A52-100-03(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カスタム・グリッドライン機能

グリッドラインのPNGファイル作成条件

グリッドラインとして使用する画像はパソコンなどを使ってご自身で作成し、以下の条件で保存してください。なお、「Custom Gridline Generator」を使うと、条件に適したグリッドラインを簡単に作成できます。詳しくは「[「Custom Gridline Generator」を使う](#)」をご覧ください。

ファイルの内容

- ファイル形式：PNG
- 容量：256KB以下
- 解像度：640×480ピクセル以下
- ファイルシステム：exFAT
- 線のカラーモード：RGBA

ファイルの推奨解像度

PNGファイルは、撮影したい構図に応じた解像度で作成することをおすすめします。高さとの幅のアスペクト比は撮影設定に合わせてください。

- 一般的な3:2のアスペクト比で静止画を撮影する場合、PNGファイルの解像度は630×420ピクセルにしてください。
- 16:9のアスペクト比で動画を撮影する場合、PNGファイルの解像度は640×360ピクセルにしてください。



ヒント

- 線の太さは5ピクセル以上をおすすめします。
- PNGファイルとカメラ画面で縦横比が異なる場合、グリッドラインはPNGファイルの縦横比を維持したままカメラ画面中央に表示されます。

ファイル名

- 以下の文字が使用できます。
 - 半角英数字
 - 「」（スペース）、「#」、「\$」、「%」、「&」、「'」、「(」、「)」、「+」、「,」、「-」、「.」、「;」、「=」、「@」、「[」、「]」、「^」、「_」、「`」、「{」、「}」
- ファイル名の先頭に「.」（ピリオド）は使用できません。
- 拡張子は「.PNG」としてください。大文字/小文字のどちらでも使用できます。
- 文字数は拡張子「.PNG」を含めて63文字以下としてください。

ファイルの保存場所

PNGファイルはメモリーカードからカメラに取り込みます。メモリーカードに下記のようにフォルダを作成し、PNGファイルを保存してください。

- SDカードの場合：
/PRIVATE/SONY/PRO/GRIDLINE
- CFexpressカードの場合：
/SONY/PRO/GRIDLINE

TP1001495135

B-A52-100-03(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カスタム・グリッドライン機能

グリッドラインをカメラに登録する

グリッドラインとして使用する画像は、あらかじめカメラに登録する必要があります。登録できるのはPNG形式のファイルのみで、最大4つまで登録可能です。

「Custom Gridline Generator」を使うと、生成時にカメラをパソコンに接続することで、カスタム・グリッドラインとしてカメラに直接登録できます。詳しくは「[「Custom Gridline Generator」を使う](#)」をご覧ください。

ここでは、メモリーカードに保存された画像をカメラのメニューからグリッドラインとして登録する方法を説明します。

- 1 MENU → [撮影] → [撮影画面表示] → [グリッドラインの種類] を選ぶ。
- 2 (カスタム 1) ~ (カスタム 4) から登録したい項目を選び、コントロールホイールの右を押す。
- 3 [登録] を選ぶ。
 - お使いのカメラに複数のメモリーカードスロットがある場合は、スロット選択画面が表示されます。PNGファイルの入ったスロットを選んでください。
- 4 コントロールホイールの上/下で希望のPNGファイルを選び、中央を押す。
 - PNGファイルにカーソルを合わせると画面右側にプレビューが表示されます。
 - ファイル名に不正な文字が使われていたり、ファイル名が長すぎたり、ファイル形式が「.PNG」ではない場合、ファイルは表示されません。ファイル名やファイル形式をご確認ください。
- 5 [OK] を選ぶ。

登録したグリッドラインを入れ替えるには

手順2でグリッドラインを入れ替えたい項目を選び、手順3～5と同様の操作を行って別のPNGファイルを上書き登録してください。

ヒント



- 登録したグリッドラインはカメラに保存されます。カメラからメモリーカードを抜いたり、メモリーカードからPNGファイルを削除したりした場合も使用できます。
- カメラを初期化すると登録したカスタム・グリッドラインも削除されます。
- カメラを縦に構えたときのグリッドラインの表示方向は、一度登録するとカメラ本体では変更できません。あらかじめ表示方向を調整してから登録してください。
 - ー カメラを右に90度傾ける場合：PNGファイルの左側が撮影時には上側になります。
 - ー カメラを左に90度傾ける場合：PNGファイルの右側が撮影時には上側になります。

グリッドライン作成ツールを使用すると、作成時にカメラの向きを確認しながら調整できます。

カスタム・グリッドライン機能

登録したグリッドラインを削除する

登録したグリッドラインを削除し、未登録の状態に戻します。

- 1 MENU→【撮影】→【撮影画面表示】→【グリッドラインの種類】を選ぶ。
- 2  (カスタム 1) ～  (カスタム 4) からグリッドラインを削除したい項目を選び、コントロールホイールの右を押す。
- 3 【削除】を選び、確認のメッセージが出たら【実行】を選ぶ。
グリッドラインが削除され、選んだ項目は未登録の状態に戻ります。
 - グリッドラインの削除を行っても、メモリーカードに保存されたPNGファイルは削除されません。

TP1001495137

カスタム・グリッドライン機能

再生時にグリッドラインを表示する

グリッドラインを再生画面に表示するかどうかを設定します。

- 1 MENU→[再生]→[再生オプション]→[グリッドライン表示]→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

グリッドラインを表示する。

切：

グリッドラインを表示しない。

ご注意

- 再生した画像を拡大したときは、グリッドラインは表示されません。

ヒント

- 表示されるグリッドラインの種類は撮影時と同じです。MENU→[撮影]→[撮影画面表示]→[グリッドラインの種類]から変更できます。
- 再生用の[カスタムキー設定]で希望のキーに[グリッドライン表示切換]を割り当てると、割り当てたキーを押すたびにグリッドライン表示のオン/オフを切り換えることができます。
- 再生用の[Fnメニュー設定]でファンクションメニューに[グリッドライン表示切換]を登録すると、Fn（ファンクション）ボタンからグリッドライン表示のオン/オフを切り換えることができます。

TP1001495138

カスタム・グリッドライン機能

グリッドライン表示のオン/オフをカスタムキーで切り換える（再生）

好みのキーに「グリッドライン表示切換」を割り当てておくと、画像の再生時にカスタムキーを押すことでグリッドライン表示のオン/オフをすばやく切り換えることができます。

1 MENU→「セットアップ」→「操作カスタマイズ」→再生用の「カスタムキー設定」を選ぶ。

2 コントロールホイールの上/下で好みのキーを選んで中央を押す。

3 コントロールホイールの上/下/左/右で「グリッドライン表示切換」を選んで中央を押す。

再生時に「グリッドライン表示切換」を割り当てたキーを押すと、グリッドライン表示のオン/オフが切り換わります。

TP1001495139

カスタム・グリッドライン機能

グリッドライン表示のオン/オフをファンクションメニューから切り換える（再生）

［グリッドライン表示切換］をファンクションメニューに登録すると、画像再生時のグリッドライン表示のオン/オフをファンクションメニューからすばやく切り換えることができます。

この機能はお使いの機種によっては対応していない場合があります。

- 1 MENU→［セットアップ］→［操作カスタマイズ］→再生用の［Fnメニュー設定］を選ぶ。
- 2 コントロールホイールの上/下/左/右で12個のファンクションメニューから希望の位置を選び、中央を押す。
- 3 コントロールホイールの上/下/左/右で［グリッドライン表示切換］が表示される画面へ移動し、［グリッドライン表示切換］を選んで中央を押す。

再生時にFn（ファンクション）ボタンを押すと、希望の位置に［グリッドライン表示切換］が表示されるようになります。

TP1001495140